

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡山県立岡山一宮高等学校] 担当教諭名 [鎌田 理加] (ユネスコ部 15名)

交流相手国 [アメリカ]

海外学校名 [Bergen Country Technical High School] 担当教諭名 [Karen Waller]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	部活動	ユネスコ部	13

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Live YOUR Life
絵に込めたメッセージ	<p>共同学習として、お互いの学校や地域、若者に人気なものを調べ、スカイプを通じて伝えあった。中でも今回は「歌」をテーマにし、それぞれの国で多くの人に愛されている歌を教え合うことで、その国民性や価値観の一端に触れた。日本側は相手に紹介された歌から、何があっても前向きに生きることの大切さを感じ、活発な人間像を絵に描いた。相手側は「世界に一つだけの花」から一人ひとりの個性や違いの大切さを感じ、描いてくれた。完成した絵には「自分らしく生きる」というメッセージが共通していることに気づき、改めて相手との深いつながりを感じた。</p>



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・自国の文化について発表するために調べることで、改めてその良さを感じることができた。 ・今回は相手側のデザインを相手に一任したので、完成されて戻ってきた作品を見た時の感動がより大きかった。食い入るように見つめて鑑賞していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決める際に、生徒同士が直接、もっと話し合えたらよかったと感じた。 ・フォーラムにメッセージを載せて交換するものの、直接的な交流ではないため、相手とのつながりを感じにくかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・相手が Technical High School だったこともあり、生徒が自立して将来の夢に必要な実践的なスキルを授業で学んでいることを知り、高校生活の違いに驚いていた。またアメリカの高校生が日本の文化をよく知っていたことや、明るくフレンドリーな会話に感激し、相手を親密に感じられたようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「歌」から絵をデザインする方法をとったが、最初は歌詞の意味をくみ取り絵で表現することができるのか不安だった。さらに相手側にも同様のお願いをしたので、協力してくれるか、絵に一体感が出るか不安だった。しかし予想以上の作品になり、両国の生徒の想像力・創造力に驚き、感謝の気持ちで一杯である。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	“自分らしい一枚の写真”を使って、自己紹介をした。	“自分らしさ”を考えることは簡単なようで案外深みのある活動で、地域の中の自分、家族の中の自分、部活や趣味に没頭する自分、など“自分再発見”につながったようだった。	部活動
テーマ学習	10月	相手が日本のサブカルチャーに興味があることがわかったので、そういったアニメや漫画等も含め、日本文化や自分たちの学校について調べ、スカイプでプレゼンを行った。	相手校の生徒が日本の映画やアニメ、ゲーム、漫画などに詳しくだったので、スカイプを通してそれらを紹介すると相手が盛り上がってくれ、生徒はとても喜んでいました。	部活動
構図決定	11月	日本からは「世界に一つだけの花」、相手からは「On Top of the World」という歌が提案され、歌詞から構図を考えてデザインを決めた。	「世界に一つだけの花」を英語で相手に歌うと決めて、一生懸命英語の練習をした。また相手から紹介された歌詞の意味を理解しようと、友達と相談しながらよく考えていた。	部活動
壁画制作	12月	壁画の色塗りを行った。12月末にアメリカへ壁画を送った。	下書きをせず、直接色をのせていくことにしたため、生徒は緊張しながらも、楽しそうに取り組んだ。	部活動
鑑賞・振り返り	3月	3月9日に作品が到着。同日、ユネスコ部の生徒全員で観賞会を行い、アメリカの生徒にメッセージを書いた。	完成された作品を見て「すごい！」と感激の声が上がった。細部にまでこだわった作品はいつまでも見ていたくなるようだった。すばらしい作品に仕上げてくれたことに感謝しながら相手にメッセージを英語で書いた。	部活動

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	サブカルチャーが多めだったが、外国人の視点から日本の文化を見ることができたため。
異文化の理解	A	4	相手校は多様な学科、科目があり服装も髪型も自由で、日米の学校の様子の違いについて驚き、興奮した様子だった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	スカイプでの発表や英語の歌の披露など、英語で話す場面が多く、スカイプセッションに向け一生懸命取り組んだ。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	特に自国の文化についてインターネットや図書館を活用し、情報収集を行っていた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	調べ学習や発表はペアなどの小グループで行ったため、全体的な人間関係の構築には至っていない。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	発表内容の分担など、生徒同士でよく話し合いながら決めて協力して行うことができた。
学習を追究する意欲	B	3	決められた事柄についてはよく調べていたが、それ以上のことについては追求する姿勢が特に見られなかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	C	4	今回は特に歌からデザインをイメージする作業があったため、想像力・表現力が必要となるが多かった。
作品を鑑賞する力	C	4	半分のデザインを相手に任せため、完成作品を見た時の興奮は昨年以上だった。生徒は何度も絵を眺め熱心に鑑賞した。